

研究協力をお願い

昭和医科大学病院、昭和医科大学病院附属東病院、昭和医科大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

心臓組織内の心筋虚血病変および冠動脈病変の突然死への関与に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2000年から2030年に昭和医科大学医学部臨床病理診断科において病理解剖または医学部法医学講座で法医解剖を施行された方

2. 研究目的・方法

心臓の筋肉には、多くの非常に細い血管(心筋間小動脈)が存在しており、これらの血管によって心筋に酸素や栄養が届けられ機能しています。近年、これらの小動脈が狭くなったり、硬くなったりすること(虚血)が、心臓の機能低下や突然死に関係している可能性があることが指摘されています。しかしながら、こうした小さな血管の変化は、通常病院で行われる心臓の検査(冠動脈造影など)では発見することが難しく、特に突然死亡される場合には、病院で十分な検査がされずその原因が明らかにならないことが多くあります。本研究では、病理解剖または司法解剖を実施させていただいた心臓の検体を用いて、心筋内の動脈の状態(狭窄、動脈硬化、炎症の有無など)を末梢にいたる心筋間小動脈まで詳細に調べ、その病変と突然死との関連を明らかにし、虚血の発生メカニズムの理解を深めることを目的としています。本研究の成果は、将来的に心臓突然死の予防や診断技術の向上に貢献できると考えられます。方法は病理解剖検体または法医解剖による心臓を用い、病理標本作製および画像解析機器による画像の取り込みと解析を昭和医科大学医学部法医学講座と臨床病理診断学講座で共同して行います。本研究は学術研究であり、対象となる方の生前の臨床情報・事例経過情報(法医学)も利用します。患者さんのデータは病院内の電子カルテより情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2032年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

病理・法医解剖検体(病理組織ホルマリン固定標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロッ

ク、病理組織ガラス標本)、病理・法医解剖診断および報告書に付随する資料(病理解剖番号、病理解剖申込書、病理解剖報告書、病理・法医解剖プロトコル(所見記載用紙)、検体肉眼画像、検体組織画像など)と生前の情報(カルテ番号、事例概略[法医学]、年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬)臨床検査結果(血液・生化学検査結果、X線、MRI、超音波検査画像、心電図検査)

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学病院、昭和医科大学附属東病院、昭和医科大学藤が丘病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和医科大学病院および昭和医科大学附属東病院、昭和医科大学藤が丘病院から昭和医科大学医学部法医学講座(提供先)へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学 医学部 法医学講座 氏名 松山 高明

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属: 昭和医科大学 医学部 法医学講座 氏名: 松山 高明

住所: 東京都品川区旗の台 1 - 5 - 8 電話番号: 03-3784-8140